

国民健康保険組合規約例（新旧対照条文）

（傍線の部分は改正部分）

| 改 正 後 | 現 行 |
|--|--|
| <p>（出産育児一時金）</p> <p>第十一条 組合は、被保険者が出産したときは、当該被保険者の属する世帯の組合員に対し、<u>出産育児一時金として四十万八千円（〇円）を支給する。</u>ただし、健康保険法施行令（大正十五年勅令第二百四十三号）第三十六条の規定を勘案し、必要であると認めるときは、別に定めるところにより、これに三万円を上限として加算するものとする。</p> <p>2 （略）</p> | <p>（出産育児一時金）</p> <p>第十一条 組合は、被保険者が出産したときは、当該被保険者の属する世帯の組合員に対し、<u>出産育児一時金として四十万四千円（〇円）を支給する。</u>ただし、健康保険法施行令（大正十五年勅令第二百四十三号）第三十六条の規定を勘案し、必要であると認めるときは、別に定めるところにより、これに三万円を上限として加算するものとする。</p> <p>2 （略）</p> |